



深浦ねぶたの紙貼りを体験しました

深浦中学校1年生の生徒が、深浦ねぶたの紙貼り作業を体験しました。深浦ねぶたは合併20周年記念事業として、有志が組織した実行委員会で制作、8月に運行を予定しています。

生徒たちは役場の職員から深浦ねぶたの起源や歴史について学んだ後、深浦ねぶた祭実行委員会の木村大希さんからねぶたの製作工程や紙貼りのポイントの説明を受けました。

生徒たちは実行委員会のメンバーから助言をもらいながら紙貼りを体験し、夢中になって紙貼りを行いました。三浦慶也さんは「型を取るのが難しかったけど、やっていく中で楽しいと思った。目の前でねぶたを見て、針金だけでも迫力を感じました」と感想を語りました。

6/13

まるっとふれあい鉄道 初開催!

新緑の十二湖で、高齢者や障がい者、ボランティアの人たちが鉄道の旅を楽しむ企画「まるっとふれあい鉄道」が開催されました。

「まるっとふれあい鉄道」は、障害や年齢に関係なく、みんなで一緒に小さな旅に出かけ、交流することを目的に能代市の市民有志が実行委員会を組織し、運行されました。

この日参加した約170人の参加者は、五能線の能代~十二湖間の鉄道の旅を楽しんだあと、十二湖の青池までを散策しました。

また、有志によるバンド演奏と共に手話や合唱なども楽しみ、参加者全員で親睦を深め、助け合いの心、誰もが生き生きとした人生を送ることの大切さを学びました。

6/15



F-ミーティングの様子

F-ミーティング 初開催

町長と町民グループが、地域の活性化・住みよくなるさつづくりなど、よりよいまちづくりのため意見交換（F-ミーティング）を行いました。

初開催となった今回は、岩崎地区の自営業の人たちを中心としたグループ「せばだばまいねびょん」と、町の補助金に関するお話や人口減少・若者定住、経済活性化に関することなど、参加者たちは様々な意見を交わしました。平沢町長は、ひとつひとつの意見に耳を傾け、町で行っている取組やこれからの考えを説明するなど、活発なミーティングになりました。

6/17

高品質への再確認 令和7年度産夏秋トマト出荷目標会農

夏秋トマトの本格出荷を前に、JAつがるにしきた農協深浦野菜生産部会の「夏秋トマト出荷目標会」が開催されました。

県によるトマトの栽培管理や、農協職員による出荷基準、東京青果㈱による市場動向などの説明が行われ、生産農家は真剣な表情で聞き入っていました。大船晴雄部会長は「生産者の努力と工夫により、高品質なトマトが生産されています。これからも順調にトマトが生産できるようがんばりましょう」と呼びかけました。

夏秋トマトは、県内有数の反収を誇り、町を代表する農産物のひとつとなっています。

トマトの生産は出荷総数300トン、販売総額1億円を目標に11月上旬まで続きます。

6/17



まちかど

ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

新緑の巨樹・古木を巡る 大戸瀬地区ウォーキング

大戸瀬地区で約4.5kmのウォーキングを行いました。①北金ヶ沢のイチヨウ②関のタブ

③関八幡宮のヤチダモ④浄安寺⑤関の甕杉⑥関の古碑群⑦折曾のイチヨウを巡り、新緑の景観を楽しみました。浄安寺では【幽霊画】の他にも、貴重な品物を拝見しました。また、おやつ休憩で食べた、漁師のおやつ屋さんの【海鮮おやき】も参加者から大変好評でした。

今回は秋頃の開催を予定しています。老若男女を問わず楽しめますので、皆様のご参加お待ちしております。

5/31



異種スポーツの交流

天心館の子どもたちが、相撲でより強くなるために総合型地域スポーツクラブ「Joy Spo!ふかうら」の吉田一仁さんから、レスリングの技術を学びました。

吉田さんは、五所川原市のレスリング道場で監督を務めており、昨年度は全国チャンピオンを2名輩出。天心館からの依頼で練習に参加しました。

吉田さんは、相手のさばき方などを実際に子どもたちと組み合わせながらコツを伝えました。その後、子ども同士で組み合の練習を行い、教わった技術や技を試していました。

子どもたちは「いつもやらない技があつて難しかった。一つできる技があつてよかった」と感謝を述べました。

6/5



レスリングの技術を学ぶ子どもたち

白神山地として大阪・関西万博へ出展

大阪・関西万博会場内（EXPOホール）で世界自然遺産登録されている5地域【知床】・【白神山地】・【小笠原諸島】・【屋久島】・【奄美大島・徳之島・沖縄】の関係者が一堂に会し、自然遺産をPRするイベントが開催されました。

白神山地からは当町のほか、鱈ヶ沢町・弘前市・西目屋村等が出展。ステージイベントに登壇した平沢町長は「深浦町は白神と日本海の距離が近い。養分が河川を通じて流れ込むことにより、年間を通じて多種の魚介類が獲れ、マグロの漁獲量は県内トップ。」と対談の中で当町をアピールしました。

また、ホール内の展示室ではPR動画の放映、ガイドブックの配布、認知度調査を行い、国内外から約4000人の来場者へ深浦町（白神山地）の価値と魅力を伝達しました。

6/5

